

長野県消防防災航空体制のあり方検討会
第2回次第

日 時：平成29年9月20日（水）
午後10時から
場 所：議会棟404・405号会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 消防防災航空体制のあり方検討作業部会の検討結果について
（当面の課題、中長期的な課題）
- 4 まとめ
- 5 その他

消防防災航空体制のあり方検討会 配席図

H29. 9. 20

議会棟 404・405 会議室

出
入
口

オブザーバー
○井本登巳彦 様
(総務省消防庁
航空専門官)

オブザーバー
○本間和義 様
(総務省消防庁
広域応援室長)

オブザーバー
○下平克彦 様
(長野県警察)

オブザーバー
○宮崎茂男 様
(長野県警察)

○田畑委員
(上伊那広域消防長)

○小平委員
(佐久広域連合消防長)

○清水委員
(松本広域消防局長)

○込山委員
(長野市消防局長)

オブザーバー
○萱津雅弘 様
(東京消防庁)

オブザーバー
○牧 幸生 様
(自衛隊OB)

○久保田委員
(小布施副町長)

○熊谷委員
(高森町長)

○足立委員
(飯山市長)

○白鳥委員
(伊那市長)

○花岡課長
(県消防課)

○池田部長
座長

事務局 (県消防課)

消防防災航空センター

作業部会委員

作業部会委員

消防防災航空体制のあり方検討会設置要綱

(目的)

第1条 長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」の事故により、消防防災航空体制の機能が失われていることから、今後のあり方について県、市町村、消防本部が一体となって検討を行う場として、消防防災航空体制のあり方検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討会の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 当面の消防防災航空体制の検討
- (2) 中長期的な消防防災航空体制の検討
- (3) その他検討会が必要と認める事項

(検討会)

第3条 検討会は、座長及び委員により構成する。

- 2 座長は、長野県危機管理部長をもって充てる。
- 3 委員は、次に掲げる者をもって充てる。
 - (1) 市町村長 4名
 - (2) 県内消防本部（消防局）消防長 4名
- 4 座長は、検討会を招集し、統括する。
- 5 座長に事故があるときは、座長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。
- 6 座長は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

(作業部会)

第4条 検討会に作業部会を置く。

- 2 作業部会は、座長及び委員により構成する。
- 3 座長は、長野県危機管理部消防課長をもって充てる。
- 4 委員は、次に掲げる者をもって充てる。
 - (1) 市町村職員 4名
 - (2) 県内消防本部職員 13名
 - (3) 長野県消防防災航空センター所長
- 5 前条第4項から第6項までの規定は、作業部会について準用する。

(事務局)

第5条 検討会及び作業部会の事務は、長野県危機管理部消防課が行う。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、検討会及び作業部会の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年5月18日から施行する。